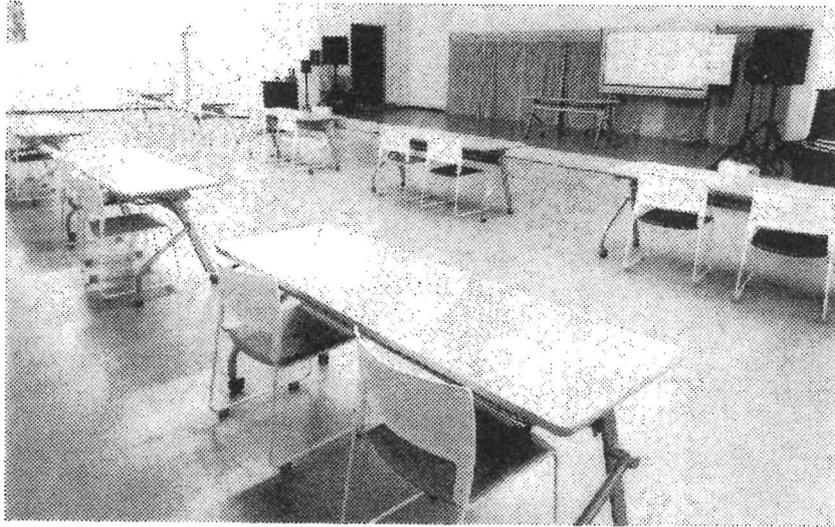


まるこ福祉会
「休校中子ども支援レストラン」開設
 19日(木)まで

上田市の（福）まるこ福祉会（柳澤正敏理事長）は3日、新型コロナウイルス対策で休校となった子どもたちの居場所づくりと、仕事のため対応に苦慮する保護者の支援を目的に、「休校中子ども支援レストラン」を開設



会場の「きらりホール」。机は間隔を空けて配置

した。19日(木)まで。同法人の福祉事業所「きらり」（上田市長瀬）

ランのランチメニューと飲物を無償提供する。ホール内は学習しやすい

にあるイベントホール「きらりホール」で午前8時半～午後4時、小学生および中学生および特別支援学校の児童・生徒を対象に、1日20人を受入れる。午前は学習、午後は遊び・運動の時間とし、昼食は併設するレストランのランチメニューと飲物を無償提供する。ホール内は学習しやすいように、また感染予防のため、間隔をとって机を配置し、定期的に換気するという。遊び・運動は屋内にボードゲームなどを用意したが、散策に出かけるなど屋外での活動を取り入れて気分転換を図る。なお学習などの支援は、同福祉会職員と毎月第1土曜日に開催する「子どもレストラン」を共に運営するNPO法人・子育て応援団ぱれっとの会員、大学生が担当する。同福祉会・小室邦夫さんは「今月は新型コロナウイルス対策で、子どもレストランと地域交流活動の場『サロンあったかい輪』の各種講座を中止した。その中で『何か役に立つことやらなければ。場所はある！』と支援レストランを行うことにした」とし、「ニーズに応え、支え合いの輪を広げたい。お困りの方はご連絡ください」と話した。

初日は、両親が共働きのため祖母宅へ来たという東京の小学1年生が利用し、2日目は市内の小学生6人が加わり7人が利用した。なお利用する前に必ず家庭で体調確認・検温などを行うこと。また利用当日、受付で看護師による健康チェックを行う。申し込みは、まるこ福祉会（きらり） ☎71-6263へ。